

【評価対象年度 2022年度】

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	町田市民ホール／町田市鶴川緑の交流館ホール等／町田市立鶴川駅前図書館		
施設概要	① 町田市民ホール 【所在地】町田市森野2-2-36 【開設年月】1978年10月 【開館日時】第1・3月曜日と年末年始を除く午前9時から午後10時まで 【建物面積】6,651㎡【建物内容】862席のホール、会議室5室、ギャラリー2室、練習室、レストラン等 【建物構造】一部鉄筋コンクリート 一部鉄骨造 4階建 ② 町田市鶴川緑の交流館ホール等／③ 町田市立鶴川駅前図書館(施設管理業務) 【所在地】町田市能ヶ谷1-2-1 【開設年月】2012年10月 【開館日時】第1・3月曜日と年末年始を除く午前8時30分から午後10時まで(ホール等) 【建物面積】5979㎡(町田市立鶴川駅前図書館を含む)【建物内容】鶴川駅前連絡所、鶴川駅前図書館を含む複合型施設 300席のホール、多目的室、リハーサル室、会議室、練習室等を備える 【建物構造】鉄筋コンクリート 地上4階地下2階建		
設置目的	・市民の文化の向上及び福祉の増進に寄与するため。(町田市民ホール条例第1条より) ・市民の芸術文化の創造活動及び地域的な共同活動その他の市民活動の推進を図り、もって魅力ある地域社会づくりに寄与するため。(町田市鶴川緑の交流館条例第1条より)		
設置根拠法令・条例	町田市民ホール条例／町田市鶴川緑の交流館条例／図書館法、町田市立図書館条例		
所管部課	文化スポーツ振興部 文化振興課 教育委員会生涯学習部 図書館	問合せ先	042-724-2184 042-728-8220
施設ホームページURL	https://www.m-shimin-hall.jp/ https://www.m-shimin-hall.jp/tsurukawa/		

(2)指定管理者

指定管理者名	一般財団法人 町田文化・国際交流財団、和光産業株式会社 ＜町田市文化施設指定管理共同事業体＞	法人番号	なし
指定管理者所在地	(代表団体 一般財団法人 町田文化・国際交流財団) 町田市森野2-2-36		
指定期間	2022年4月1日～2027年3月31日		
指定管理業務の内容	・市民ホール及び鶴川緑の交流館ホール等の施設及び附属設備の貸出し ・市民の芸術文化の向上のため、文化事業を市民が主催あるいは参加する機会を提供する。また、音楽公演、古典芸能などの文化事業を実施し、市民に提供する。 ・市民ホール、鶴川緑の交流館ホール等及び鶴川駅前図書館の各種点検業務を行い、維持管理を行う。		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
市内の文化団体等と連携した運営を行い、地域の文化振興に寄与する。	2027年3月	町田市文化協会と共に、各団体と連携し、文化祭や新春文化の祭典などを実施した。また、3年ぶりに郷土芸能まつりを実施するとともに、中学校・保育園など地域と連携したコンサートを行った。
各施設の特徴を十分に生かした事業を展開することで、より多くの方に来場してもらう。	2027年3月	リニューアルした市民ホールは、使いやすいホールとギャラリー、会議室を組合せ新たな事業展開を計画している。 鶴川緑の交流館ホール等は小ホールならではの臨場感、一体感のある事業を展開するとともに、事業に合わせた特集コーナーを設置するなど図書館と連携、またカフェで行うサロンコンサートも再開した。
その時代に合った適切な利用環境を整え、安全で安心して利用できる施設運営に努める。	2027年3月	その時の生活様式に対応し利用者にとって安全、安心で利用できる管理に努めた。

3. 昨年度の課題

内容	市民ホールは、施設利用率向上に向けて、顧客の要望や需要を見極めながら、施設の新しい利用方法のPRを行うなどの取組が必要である。利用者満足度調査について、調査対象の拡充に加え、施設やサービスそのものの満足度調査も行うなど、顧客ニーズの把握につなげる必要がある。 鶴川緑の交流館ホール等は、施設利用率を維持増加させるために、通信回線を活用した更なる取組みの実施や、諸室と同様に新たな需要や利用方法を詳しく分析した上でPR方法等を工夫するなど継続的な取組が必要である。
----	--

4. 総合評価及び所見

総合評価	B	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	市民ホールは、2021年11月から2023年1月まで、改修工事を行うため休館したが、休館中も、市民フォーラムや市民センター等の市内各施設において積極的なアウトリーチ事業を行い、再開後の施設のPRを行った。また、休館中の代替会場の確保を含め、市内文化団体の支援を丁寧に続けたことは評価できる。再開後はリニューアルオープン記念企画として、様々なイベントを実施したことで、多くの来場者に市民ホールの魅力を伝えることができた。 鶴川緑の交流館ホール等は、休館中の市民ホールの代替会場となった影響に加え、感染症対策を徹底し、2021年度比で利用率を上昇させたことは評価できる。結果的に市民ホール及び鶴川緑の交流館の貸出施設の利用率は、前年度比で9.9ポイント向上した。 鶴川駅前図書館とPRや会場の提供等で連携し、施設全体で事業を盛り上げる企画は、施設利用者数の向上につながる取組として評価できるため、今後も続けられたい。 両施設とも2022年度から、公演に加え、施設やサービスそのものの満足度調査も実施しており、調査結果の分析を通じて得られた、利用者の要望や新たな需要に見合った事業の実施やPRに取組まれたい。 また、両施設の連携については不十分であるため、引き続き両施設が相乗効果を生み出すよう積極的な取組を期待したい。 鶴川駅前図書館の施設・設備の維持管理は適切に行われている。	

【評価対象年度 2022年度】

指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	<p>市民ホールは、2021年11月から2023年1月まで、改修工事を行うため休館した。休館中は、市内施設を利用した事業や、市内団体と連携した事業を行い、市民が文化芸術に触れる機会が減らないように努めた。2022年度は、リニューアルオープン記念事業の企画を行うと共に、再開後すぐに「試弾会」を開催して眠っていたピアノを弾いて温めていただくことで、一般開放し、市民ホールでのピアノの響きを確かめていただいた。レストランの運営については、休館があったため、新たな取組ができなかった。施設の利用率は、2021年度と比較して2か月間の運営であるが、前年と同様な数値であった。残念ながら、目標には達していない。今後も対策を講じながら、施設の新しい利用方法のPRを行うなど、利用率向上に努めたい。利用者満足度調査については、調査数は少ないが前回実施した時よりも回収率が改善した。2022年度からは利用者アンケート調査の手引きに基づき、ホールの公演以外にも幅広く調査の対象とすることや、調査実施公演数を増やすことに加え、施設やサービスそのものの満足度も調査を行った。</p> <p>鶴川緑の交流館ホール等は、2022年度は利用制限の緩和、町田市民ホールの休館などの影響により、施設利用率はホールの92.2%をはじめ全室高い数値となった。事業では「開館10周年記念シリーズ」として開催した「金子三勇士ピアノリサイタル」「小菅優ピアノリサイタル」など人気演奏家による公演を実現、人気若手真打の「柳亭小痴楽・桂宮治二人会」や「神田伯山独演会」では、チケットが完売し反響となった。その他、ウクライナ在住の日本人姉妹によるピアノ演奏「ウクライナ・チャリティコンサート」を開催、売上金を全額寄付した。また、東京都交響楽団の協力により、鶴川地区の保育園や子ども園で訪問コンサートを実施。加えて、3月11日に陸前高田写真展に併せて、震災関連の映画を上映、(一社)鶴の羽の会によるトークイベントを開催し、これまでの支援活動を紹介した。さらに、ホストタウン関連イベントとして、プラネタリウムやワークショップイベントを実施する「まるごとインドネシア!」を、町田国際交流センターと連携し、「ジャワの影絵芝居ワヤンと舞踊 & 子ども向けワヤン人形つくりワークショップ」を開催、好評を得た。また、これらをきっかけに市内在住のインドネシア関連の方とのネットワークを結ぶことができた。</p> <p>「水曜午後の音楽会」、「映画上映会」は、ともに好評で、継続を望むご意見を多くいただいている。恒例となった鶴川ショールーム一皮コンテストも多くの作品応募があり、確実に認知されつつある。</p> <p>また、広報においてはTwitterの利用を開始し、SNSユーザーに対するアピールと新規顧客開拓に力を入れた。他、鶴川駅前図書館と協力し、事業に合わせて図書館内でクラシックの書籍の特集などをしてもらった。久美堂店舗にポスターの掲示、図書館の事業に対しての施設利用など協力し、良好な関係を築いている。</p> <p>2023年度については、朗読劇や講談とオペラのコラボレーションなど過去に行っていない事業を予定しており、新しい客層に来場していただけるよう力を入れる。</p> <p>施設面ではホールと多目的室のプロジェクターをデジタル化したことにより、更に顧客のニーズに答えられるようになる期待できる。</p>
-------------------------------	---

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	<p>施設アンケート【調査期間】2023年3月【配布枚数】137枚【回収枚数】112枚【回収率】81.8% 【調査方法】利用者へ手渡し、BOX回収</p> <p>事業アンケート【調査期間】2022年4月～2023年3月【配布枚数】9,150枚【回収枚数】4,015枚【回収率】43.9% 【調査方法】市民ホール及び鶴川緑の交流館ホール等の公演時に来場者へアンケート用紙を配布し回収</p>
------	--

指標1	評価基準		目標	結果	評価
利用者満足度(施設)	A: 80%以上 B: 60%以上～80%未満 C: 60%未満		75%	96.3%	A
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2022	2023	2024	2025	2026
目標値	75	75	80	85	85
実績値	96.3				

指標2	評価基準		目標	結果	評価
利用者満足度(事業)	A: 80%以上 B: 60%以上～80%未満 C: 60%未満		75%	98.9%	A
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2022	2023	2024	2025	2026
目標値	75	75	80	85	85
実績値	98.9				

指標3	評価基準		目標	結果	評価
施設利用率(貸出施設平均)	A: 70%以上 B: 60%以上～70%未満 C: 60%未満		66%	66.3%	B
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2022	2023	2024	2025	2026
目標値	66	68	70	72	74
実績値	66.3				

【評価対象年度 2022年度】

指標4	評価基準	目標	結果	評価	
事業参加者・入場者数	A: 75,000人以上 B: 65,000人以上～75,000人未満 C: 65,000人未満	17,390人	14,194人	C	
指定期間内における実績(単位:人)					
年度	2022	2023	2024	2025	2026
目標値	17,390	75,100	75,100	75,100	75,100
実績値	14,194				

※市民ホールは改修工事により10か月の施設休止があったため、目標値、実績値ともに2か月分

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
B	利用者満足度及び施設利用率は目標を上回った一方、事業参加者・入場者数は目標を下回った。指標1から4の結果を総合的に判断し、総合評価はBとする。

【サービスの質に関する評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない

6. 業務履行状況の確認

(1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	利用者の公平な選考	施設貸出の抽選会を毎月適正に実施している。	Eメール・郵送での申込みと来場不要・非対面のコンピューター抽選方式を導入し、抽選会を毎月第1水曜日に実施していることを抽選会の案内文書及びヒアリングにて確認した。	適
	広報活動	広範に独自の広報活動を実施している。	コンサートガイド、HP、市内外タウン誌、近隣施設の情報紙への掲載、市内各所や公演でのチラシ配布、また市内掲示板や横断幕等によって広く周知していることを発行物及びヒアリングにて確認した。	適
施設・設備の運営方針	建物・設備の維持管理	関係法令及び業務基準書を遵守し、必要な点検等の実施及び処置が行われている。	業務基準書どおりに点検、清掃及び必要な修繕を行っていることを月次報告書及びヒアリングにて確認した。	適
	芸術文化事業の実施	年間72事業(2022年度は市民ホール休館期間があるため45事業)以上実施している。また、事業形態やジャンルのバランスが図られている。	主催31、共催24、市民参加型12の合計67事業を実施。多彩なジャンルの公演を適切なバランスで実施したことを事業報告書にて確認した。	適
情報公開・個人情報保護	情報公開及び個人情報保護の適正な取扱	マニュアルを備え、それに沿った運用がなされている。	財団のマニュアルを確認し、マニュアルどおりに運用がされていることをヒアリングにて確認した。	適
	情報公開及び個人情報保護の研修等の実施	全職員への研修・教育が行われている。	全職員への研修が行われていることを研修記録にて確認した。	適
要望対応	要望の管理及び共有	要望を集約し、職員間での情報共有及び市への報告が行われている。	意見要望シートを現地で確認した。また情報を共有・集約していることをヒアリングにて確認した。	適
	事故・トラブル防止	マニュアルを備え、それに沿った運用がなされている。	財団のマニュアルを現地で確認した。また、マニュアルどおりに運用がされていることをヒアリングにて確認した。	適
危機管理	防災訓練の実施	災害、緊急時に備えたマニュアル・体制を備え、年2回の防災訓練を実施している。	マニュアルを備え、年2回の防災訓練を実施していることを訓練報告書にて確認した。(市民ホール休館中は他館への訓練に参加)	適
	帰宅困難者の受入れ	帰宅困難者一時滞在施設としての受入れ体制が整備されている。	帰宅困難者の受け入れについて、基本協定書に基づき、マニュアルを備えていることを現地で確認した。	適
	各種保険への加入	業務基準書に定めている保険に加入している。	基本協定書で定めた水準を満たす公立文化施設賠償責任保険等に加入していることを証券にて確認した。	適
人的安定性	職員研修	職員の指導育成のための研修を実施している。	財団が策定した人材育成基本方針に基づき、経理、財団経営、事業・施設運営、マネジメント等の各種研修に各職員が参加していることを受講記録簿にて確認した。	適
	職員の配置	業務基準書に定めている有資格者等を配置している。	業務基準書に定める有資格者を配置していることを、資格証にて確認した。	適

【評価対象年度 2022年度】

管理経費の縮減	管理経費の縮減	施設管理運営費等を縮減するための工夫をしている。	こまめな消灯・節水に加え、電力需要量を管理し、使用量の調節を行うなど、無駄な電力使用を抑えていること、調達方法を工夫することで、備品購入費用の節約に努めていることをヒアリングにて確認した。	適
	事業経費の妥当性	適切な収支により事業が実施されている。	適切な収支により事業が実施できていることを会計・経理モニタリングおよびヒアリングにて確認した。	適
地域貢献	地域住民・団体との連携	地域住民・団体との協働や活動の支援、ネットワークづくりに積極的に取り組んでいる。	文化団体支援室を活用して市民団体への協力や活動支援に取組むネットワークづくりを積極的に実施し、事業や展示等を展開していることをヒアリングにて確認した。	適
	市内従業員の積極的な雇用	市内従業員の雇用率を確保している。	市内従業員の雇用率は55.6%であり、選定時の提案目標55%を上回っていることをヒアリングにて確認した。	適
施設間の連携	施設間の連携・一体的運営	両施設それぞれの特性を活かした連携により、相乗効果を発揮した運営・管理が行われている。	市民ホール、鶴川緑の交流館ホール等及び国際交流センターにおいて、ホームタウン事業連携や国際交流事業に参画し、鶴川緑の交流館ホール等では、図書館との連携し、絵本の読み聞かせや紙芝居などを行った。また、図書館で、関連書籍の特別コーナー設置などの取組を行ったことをヒアリングにて確認した。	適

(2)業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
モニタリングその他	会計・経理モニタリング	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2023年3月1日に市民ホールでモニタリングを実施し、会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」であった。	適
	労働条件モニタリング	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。または、改善のための対策が講じられている。	2023年3月1日に市民ホールでモニタリングを実施し、労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」であった。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
適	全項目について、要求水準を満たしていることを、現場調査、日報、事業報告書、証券等の書類とヒアリングにて確認した。

【評価対象年度 2022年度】

7. 財務・収支状況の確認

(1) 公の施設に係る収支

単位:千円

年度 項目		2022			2023			2024		
		予算(当初)	予算(変更後)	決算	予算(当初)	予算(変更後)	決算	予算(当初)	予算(変更後)	決算
収入	指定管理料	322,290	335,121	335,121	346,138			346,157		
	利用料金	36,711	34,000	43,540	88,000			88,000		
	事業収入	15,653	14,227	18,658	53,287			54,347		
	自主事業	4,770	0	2,561	4,770			4,770		
	その他	0	3,300	6,316	0			0		
	計	379,424	386,648	406,196	492,195	0	0	493,274	0	0
支出	人件費	103,998	113,040	96,799	110,606			112,487		
	管理運営費	234,177	215,766	222,973	327,212			332,810		
	企画事業費	19,599	25,096	20,488	40,257			33,882		
	自主事業	4,770	0	1,783	4,770			4,770		
	その他	16,880	10,591	14,200	9,350			9,325		
	計	379,424	364,493	356,243	492,195	0	0	493,274	0	0
総計(収入-支出)		0	22,155	49,953	0	0	0	0	0	0

年度 項目		2025			2026		
		予算(当初)	予算(変更後)	決算	予算(当初)	予算(変更後)	決算
収入	指定管理料	346,151			346,157		
	利用料金	88,000			88,000		
	事業収入	54,630			55,220		
	自主事業	4,770			4,770		
	その他	0			0		
	計	493,551	0	0	494,147	0	0
支出	人件費	112,287			112,287		
	管理運営費	331,887			332,933		
	企画事業費	35,282			34,832		
	自主事業	4,770			4,770		
	その他	9,325			9,325		
	計	493,551	0	0	494,147	0	0
総計(収入-支出)		0	0	0	0	0	0

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位: %

年度	2022	2023	2024	2025	2026
経常利益率	5.5				
負債比率	123.1				

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	(1) 光熱水費高騰に対応して指定管理料を増額した。経費の縮減を徹底したことや利用料金収入の増加で決算の収支は黒字となった。 (2) 負債比率は2021年度(77.4%)より上昇しているものの、経常利益率は2021年度(2.2%)より改善していることから、施設を安定的に運営していると評価できる。